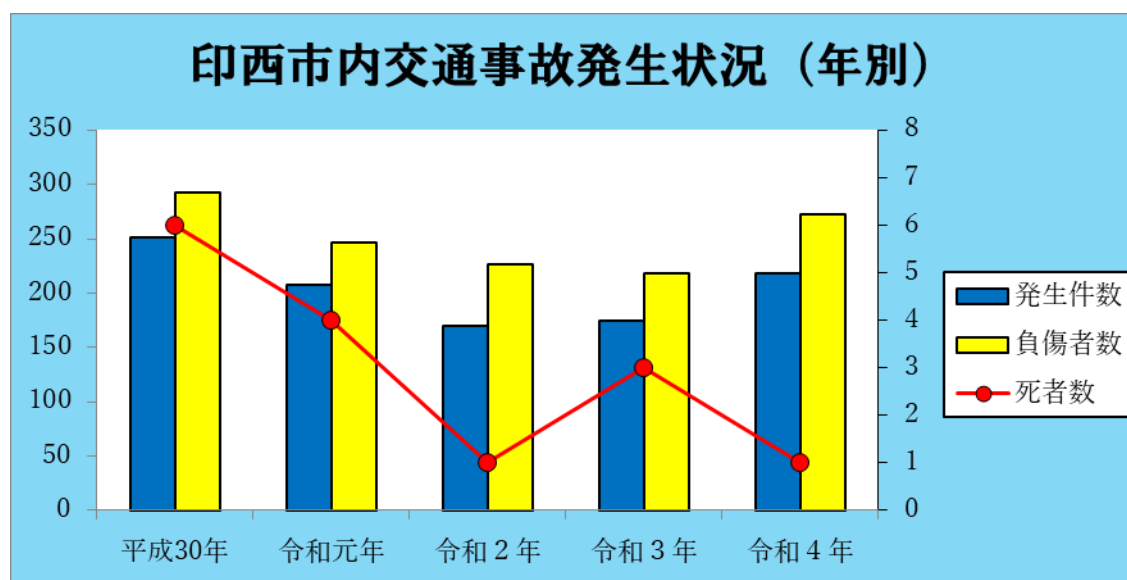


道路交通事故のすう勢

ア 交通事故の現状

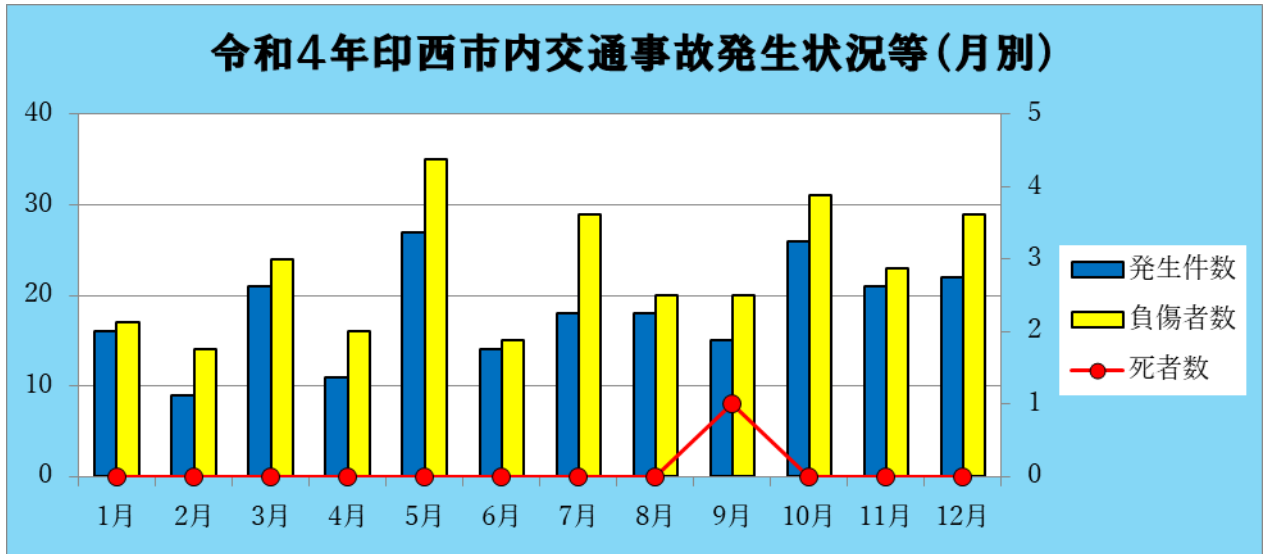
市内における過去5年の交通事故の状況について、平成30年が発生件数251件、負傷者数293人、死者数6人と最も多く、翌年以降から減少傾向にありましたが、令和4年は、死者数1人（前年比2人の減）と減少したものの、発生件数218件（前年比44件の増）、負傷者数273人（前年比55人の増）と増加しました。

【過去5年の交通事故発生状況】



年	H30	R1	R2	R3	R4
発生件数	251	208	170	174	218
負傷者数	293	246	226	218	273
死者数	6	4	1	3	1

【交通事故の月別発生状況】

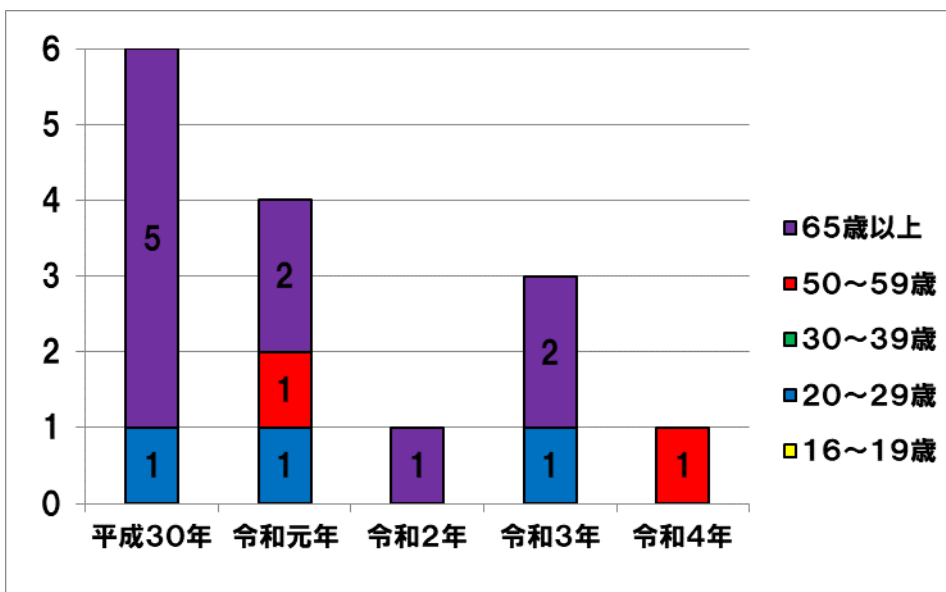


月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
発生件数	16	9	21	11	27	14	18	18	15	26	21	22
負傷者数	17	14	24	16	35	15	29	20	20	31	23	29
死者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

【特徴】 月別の発生状況では、年間平均で約18件程度の交通事故が発生しました。その中で、2月については、発生件数、負傷者数、死者数ともに最も少ない数値になっております。

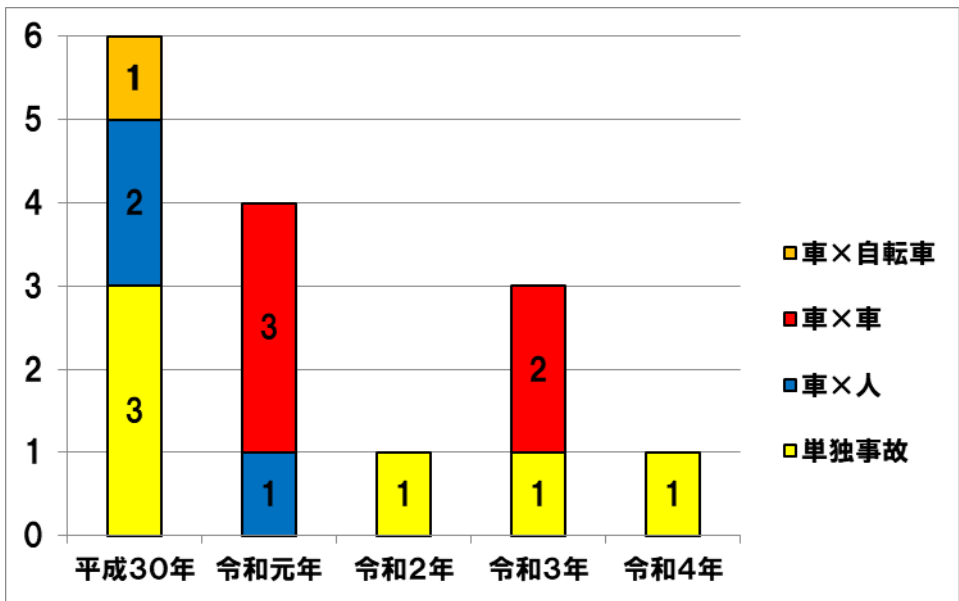
イ 交通死亡事故の特徴(過去5年)

a 原因者年齢層別発生状況



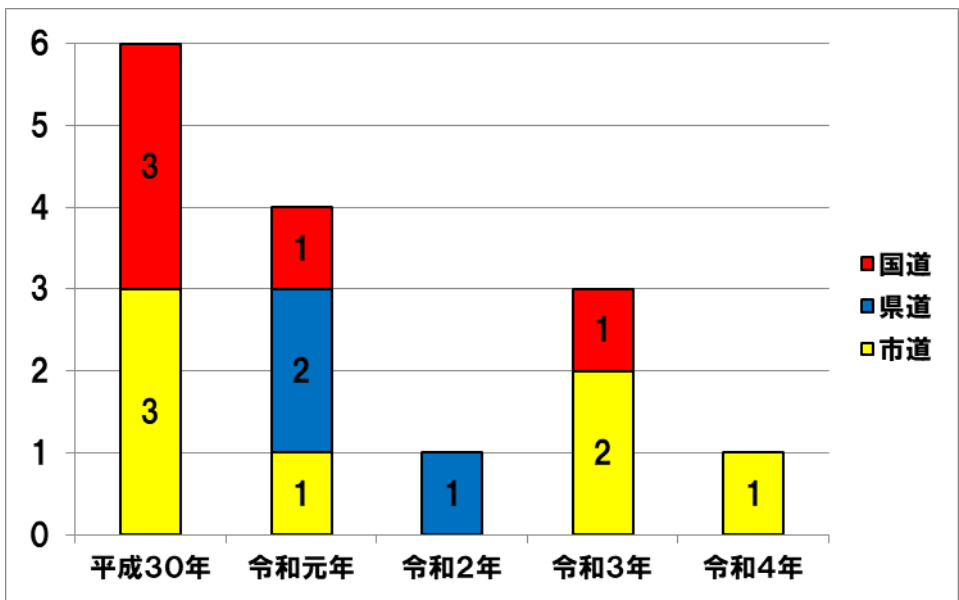
【特徴】 原因者年齢層別発生状況では、65歳以上が合計10件と最も多くなっています。

b 類型別発生状況



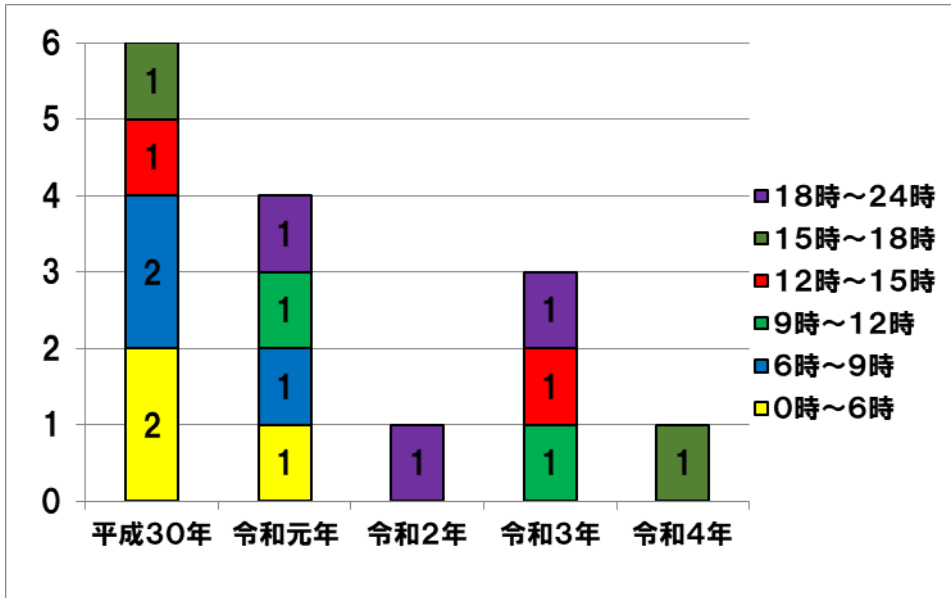
【特徴】 類型別の発生状況では、単独事故が6件で全体の約40%と最も多くなっています。

c 路線別発生状況



【特徴】 路線別の発生状況では、市道での発生件数が7件で全体の約47%と最も多くなっています。

d 時間帯発生状況



【特徴】平成30年から18時～24時、0時～6時の夜間の事故が発生しています。

ウ 交通人身事故の特徴

a 原因者年齢層別発生状況

年/年齢	0～12 歳	13～15 歳	16～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65歳 以上	不明
平成30年	0	0	3	36	39	47	37	16	70	3
令和元年	0	1	6	29	34	38	25	16	54	5
令和2年	1	1	4	18	22	29	35	12	48	0
令和3年	0	1	0	29	27	28	26	11	47	5
令和4年	1	0	3	38	24	28	28	17	67	12
合計	2	3	16	150	146	170	151	72	286	25

※「a 原因者年齢層別発生状況」は、第一当事者の数

※「不明」はひき逃げ

【特徴】原因者年齢層別発生状況では、65歳以上が286件で最も多く、次いで40代の170件、50代の151件の順となっています。

b 類型別発生状況

《車に起因する事故》

	車×車	車×二輪	車×自転車	車×歩行者	車×軽車両
平成30年	143	13	49	41	0
令和元年	122	16	39	25	0
令和2年	102	13	22	26	0
令和3年	105	18	25	19	0
令和4年	108	15	52	35	0
合計	580	75	187	146	0

※軽車両は、自転車を除く

《二輪に起因する事故》

	二輪×二輪	二輪×自転車	二輪×歩行者
平成30年	0	0	0
令和元年	0	0	1
令和2年	0	0	0
令和3年	1	0	0
令和4年	0	2	0
合計	1	2	1

《その他》

	自転車×自転車	自転車×歩行者	その他単独
平成30年	0	1	4
令和元年	2	1	2
令和2年	1	4	2
令和3年	1	2	3
令和4年	3	1	2
合計	7	9	13

【特徴】 類型別発生状況の車に起因する事故においては、「車対車」が580件で全体の約57%と最も多く、次いで、「車対自転車」の187件、「車対歩行者」の146件の順になっています。

c 路線別発生状況

年/路線	県道								
	千葉	柏	市川	船橋	千葉臼井	佐倉	印西		
	竜ヶ崎線	印西線	印西線	印西線	印西線	印西線	印旛線	北環状線	南環状線
平成30年	13	2	7	3	9	7	4	2	5
令和元年	16	0	5	3	6	3	2	7	1
令和2年	14	0	3	3	7	6	2	3	2
令和3年	16	1	2	3	4	3	2	6	4
令和4年	14	0	5	5	6	7	0	11	7
合計	73	3	22	17	32	26	10	29	19

年/路線	県道		市道	国道		その他
	鎌ヶ谷	八千代		356号	464号	
	本埜線	宗像線				
平成30年	0	0	112	19	54	14
令和元年	0	2	80	17	48	18
令和2年	0	2	71	7	37	13
令和3年	1	0	57	17	44	14
令和4年	0	2	82	14	48	17
合計	1	6	402	74	231	76

【特徴】 路線別発生状況では、市道が402件で最も多く、次いで国道の305件、県道の238件、その他で76件となっている。
また、国道別、県道別では、国道464号で231件、県道千葉竜ヶ崎線で73件の事故が発生している。

d 時間別発生状況

年/時間	0~2時	2~4時	4~6時	6~8時	8~10時	10~12時	12~14時	14~16時	16~18時	18~20時	20~22時	22~24時
平成30年	3	3	2	19	26	42	30	29	42	33	16	6
令和元年	2	2	5	22	27	24	28	23	23	36	12	4
令和2年	2	1	3	29	20	19	20	28	26	10	11	1
令和3年	2	0	0	12	25	29	19	22	28	20	14	3
令和4年	4	1	4	25	26	28	28	29	41	24	7	1
合計	13	7	14	107	124	142	125	131	160	123	60	15

【特徴】 時間別発生状況では、「16時~18時」の時間帯に160件と最も多く、次いで「10時~12時」の142件、「14時~16時」の131件の順になっている。